

印西大師 番外 宗甫・観音堂

1 名称 (No.106/213)〔手引鏡：観音堂〕〔資料館：観音堂〕〔行程表：観音堂〕

2 場所 印西市宗甫47付近

別所・観音堂から道程約1270m

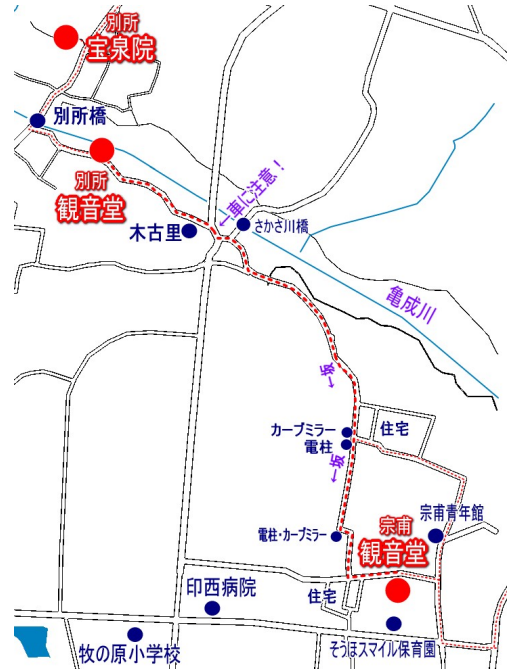
GPS座標 35.8134414857033, 140.16682734587013

3 由緒 宗甫地区にある観音堂には、馬頭観音が祀られています。頭上に馬の頭をかかげていることから馬頭観音と呼ばれ、馬の病気と安全を祈願するものです。印西地方でも明治33年に馬の病が流行しました。また、馬頭観音は観世音菩薩の化身ということから、女人信仰と結びついています。この観音堂にも乳の出、子育てを祈願した絵馬が奉納されています。(印西名所図会)

4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が2体あり。

5 境内 観音堂のほか大師堂の隣に弘法大師供養塔、十九夜塔などの石造物がある。近年、境内の木々が伐採され、周辺に住宅が建ち、景色が一変してしまいました。

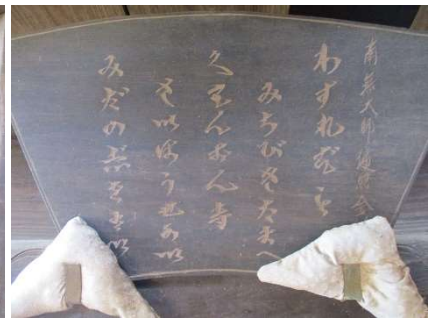
6 写真 (2022.10撮影)



大師堂



御大師様



御詠歌



宗甫観音堂



大師堂と弘法大師供養塔



石造物

7 情報

(1) 宅地開発で環境変化

2023年4月に再度訪問すると、右の写真のように御堂周辺の木々がすべて伐採されていました。森の中の御堂といった趣で風情があつて良かったのですが、周辺の宅地開発により保育園や住宅が建ち始めたた



め、明るくしたのでしょうか。新しい住宅がたくさん建ってしまい、宗甫観音堂の場所が目立たなくなっていました。右の写真（2024年3月撮影）の赤い屋根の家の向こう側にあります。迷ったら「そうほスマイル保育園の裏」を探してみてください。



(2) 馬頭観音

もともとはこの地の名主家に伝わる持仏の馬頭観音でしたが、村人から深く崇敬されていたことから、寛政六年（1794年）に現在の場所に移されたといえます。（北総鉄道「北総線の小さな旅」）

2024.03一部修正